

1) システムの名称 :

Screen Based EAI ツール Data-Connector (データコネクター)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

2.3. その他 (EAI ツール)

3) 特色 :

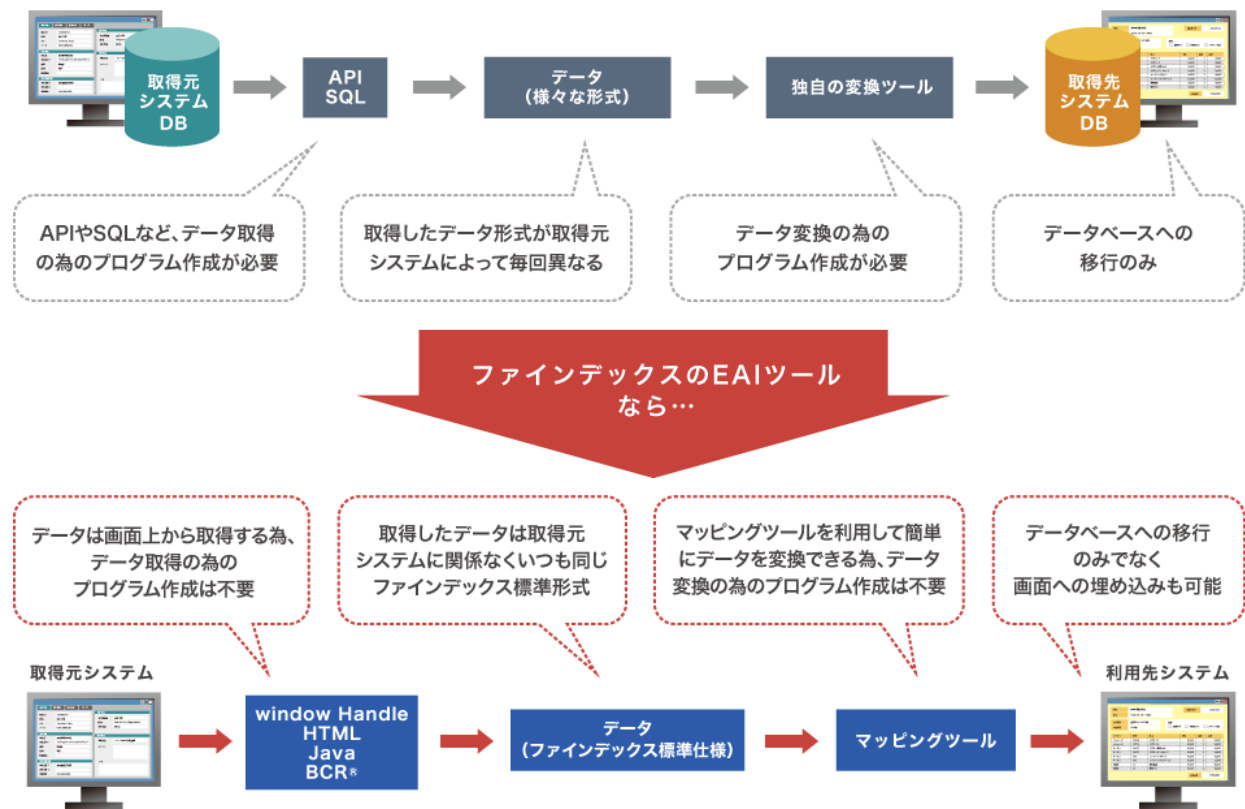
Screen Based EAI ツール Data-Connector は、これまでの EAI ツールの様にデータベースや通信を介してデータを取得するのではなく、画面上から 1 クリックでデータを取得することで、簡単かつリーズナブルにデータを取得し利用することを可能にする新発想の EAI ツールです。

※EAI ツールとは EAI : Enterprise Application Integration

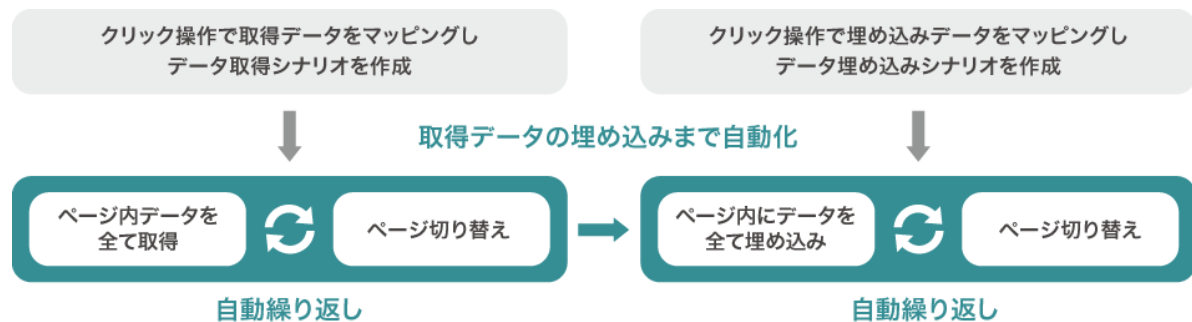
企業内で使われている複数の異種コンピュータやシステム同士を連携させ、データやプロセスを統合する事で効率的な運用を可能にする技術やソフトウェアの総称

4) 画面 / 構成図を含めた分かりやすい説明 :

**■従来の EAI ツールとの違い**  
データは「画面」から取得し「画面」への埋め込みも可能です。どんなアプリケーションからもデータを取得し利用できます。データベースや通信ではなく画面上からデータを取得する為、専門知識がなくても簡単なクリック操作だけでデータを取得し利用することができます。



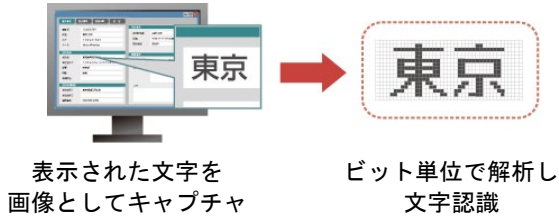
**■シナリオの自動化で画面間のデータ授受も自在に**



■業務レベルで利用する為の機能

BCR 機能

独自特許技術により、一般的な文字認識（OCR）では成しえなかった100%の精度で画面上の文字を認識することができます。特願 2013-025232, PCT/JP2013/059508



オートパイロットの連続処理

「データを取得し蓄積する」という一連の作業を自動的に行うことで、夜間に移行用データを作成しDBに移行することもできます。



■ツールとしての利用

専用ツールとして、必要なコネクタのみを最小構成で利用することができ、自社製品へのバンドルも行えます。

起動連携



GUIを利用して簡単な設定を行うだけで、連携先システムベンダと仕様調整を行うことなく、1クリックで他社システムを起動できます。特願 2012-144881, PCT/JP2012/069796

データ連携



日々利用する業務システムで入力情報を登録する際に、自動的に画面上のデータを取得し、クラウドサービスなどの他システムにデータを登録することができます。

データ移行



他社システムのDB仕様が分からない場合にも、画面上からデータを取得し移行できます。また、オートパイロット機能を利用することで自動的に作業が行えます。

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

未対応

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

- 構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載
- オペレーティングシステム：Windows 8.1, Windows10（※一部機能制限有）
- CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上
- メインメモリ：4GB 以上
- 画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上
- <DB 版の場合>
- DBMS：Microsoft SQL Server 2016 Express 以降のバージョン

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様と打合せ（1回程度）・通常2～3日程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

ソフトウェア・導入作業費用 97,000円から（税別）

9) 保守の内容と費用：

なし ※契約形態による

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス <https://findex.co.jp>  
 事業所：東京本社、四国支社、大阪支店、福岡支店、札幌支店、那覇支店、京都支店、新潟支店

※弊社HPのお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。  
[https://findex.co.jp/inquiry/inq\\_pro.html](https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html)